

S h i e l d i n g 積分テストWG  
1991年度 第3回会合 議事録（案）

日時 : 1991年11月15日（金） 13:30~17:30

場所 : 日本原子力研究所 本部 第2会議室

出席者 : 川合（東芝）、桜井（原研）、植木（船研）、松本（三井造船）、波戸（高エネ研）、  
佐々木（三菱原子力）、山野（住友原子力）、上蓑（東大核研）《オブザーバ》、  
以上8名 <敬称略・順不同>

配布資料 :

SB-91-24:Shielding Benchmark Test of JENDL-3 (Abstract)	[山野委員]
SB-91-25:WINFRITH Iron Calculations	[植木委員]
SB-91-26:RPI Graphite Experiments	[松本委員]
SB-91-27:LLNL-Hansen Calculations	[植木委員]
SB-91-28:4.1.1 Iron(Discussions)	[山野委員]
SB-91-29:4.2 D-T Neutron Source(Discussions)	[植木委員]
SB-91-30:Fe Total Cross Section Comparison between DLC-87 and ENDF/B-VI	[波戸委員]
SB-91-31:Shielding Benchmark Test of JENDL-3	[川合委員]

- 議事 : 1. 前回会合(1991年9月24日)議事録(案)の確認がなされた。
2. 波戸委員より資料SB-91-30の説明が行われ、DLC-87の鉄の全断面積とENDF/B-VI High Energy Fileの比較が報告された。その結果、100MeV以下では、両者に大きな差異はないが、100MeV以上でDLC-87はENDF/B-VIより値が大きく、400MeVでは約2倍となっており、そのエネルギー依存性も異なっていることが判った。この差異の原因を調べるため、部分断面積の比較を波戸委員が実施し検討することとした。
3. J E N D L - 3 遮蔽積分テスト報告書原稿の説明が各委員より行われた。
- a . 山野委員より資料SB-91-24の説明が行われ、報告書のアブストラクトが決定された。著者は報告書原稿を実際に作成した委員に限り、議論に参加した委員は謝辞に記載することとした。
- b . 植木委員より資料SB-91-25の説明が行われ、結果の一部を修正することとした。
- c . 松本委員より資料SB-91-26の説明が行われ、前回の0degreeの300keV付近の構造の再検討結果が報告された。その結果、JENDL-3のCarbonは妥当であり、特に問題点がないことが判った。透過が深くなると、0degreeで過小評価するが、これは計算手法の問題であることが結論された。
- d . 植木委員より資料SB-91-27の説明が行われ、120degreeの合わない部分を削除した理由を追加することとした。
- e . 山野委員より資料SB-91-28の説明が行われた。本報告書のDiscussionとしては不適当

な部分があり、川合委員より出されたコメントに沿った加筆修正を行い、断面積の比較図を追加することとした。

f. 植木委員より資料SB-91-29の説明が行われた。本報告書のDiscussionとしては不適当な部分があり、川合、山野委員より出されたコメントに沿った加筆修正を行い、DD Xの比較図を追加して議論することとした。

g. 川合委員より資料SB-91-31の説明が行われた。本報告書のIntroductionとしては不適当な部分があり、佐々木、山野委員より出されたコメントに沿った加筆修正を行うこととした。

h. 11月末までに、今まで提出された原稿のtypeoutを桜井委員が作成し、全委員に送付し、今回の議論を基に各委員が原稿を加筆修正し、山野委員まで送付することとした。次回会合に総合的な議論を実施して、最終案をまとめることとした。

担当委員：Iron(山野委員)、Sodium(大谷委員)、Graphite(松本委員)、  
Oxygen(長谷川委員)、SUS(佐々木委員)、D-T Neutron Source(植木委員)

4. 新委員として東大核研：上蓑氏の参加が承認され、1992年度より正式に参加して頂くこととした。

次回会合予定：1991年12月11日（金）13:30～17:30  
日本原子力研究所 本部 会議室

次回予定議題：1) JENDL-3遮蔽積分テスト報告書原稿の説明（各委員）  
2) DLC-87定数検討について（波戸委員）  
3) その他

以上